

新型コロナウイルス感染からペットを守ろう！

散歩のときに気を付けること

犬の散歩や運動については、犬の健康の為にも、続けましょう。

●人や犬が多数集まる公園等に連れていくのは避け、散歩や運動は必ずリード（引綱）でつないで行いましょう。

●散歩は、人混みを避けたルートを選び、飼い主同士の立ち話は避け、通行人や他の動物とは1.8m程度の距離を保つようにしましょう。

●帰宅後、手洗いとリードの消毒等の感染対策を必ず行いましょう。



ペットが感染したのではと心配です

一般的な飼育環境での犬猫への新型コロナウイルスの感染は、世界で数例報告されていますが、飼い主が感染者でない場合、ペットへの感染を過度に心配する必要は低いと考えられています。

新型コロナウイルスに感染していた人とペットが濃厚に接触したことが分かっていて、その後、ペットの体調が悪くなったという場合には、かかりつけの動物病院に、まず電話をして相談ください。

ペットを動物病院に連れていく前には、必ず事前に連絡を入れましょう。



私は新型コロナウイルスに感染しました。ペットとどう接すればいいですか？

入院される場合は、お友達やご家族等他にペットの世話をしてくださる方がいらっしゃるようでしたら、お世話をお願いしてください。



ペットをお渡しする際には、感染した方と預かる方が直接顔を合わせることがないように工夫することや、キャリーバッグや首輪・リード等は、0.05%に薄めた次亜塩素酸ナトリウム液で拭いた後、もう一度水拭きしてお渡しする等の感染予防対策を行いましょう。

ペットへの感染を防ぐために、濃厚接触(キスをする、ペットが顔を舐めないようにする、皿などの共有はやめる、密着して眠る等)は控えることが望ましいでしょう。



東京都獣医師会発信の飼い主向け新型コロナウイルス情報をまとめたページへアクセスできます。ご覧ください。

飼い主が感染しないことが ペットを守るために最も大事なことです！

動物の福祉が守られ、適切な衛生状態を維持できる飼育環境を守ることが、飼い主の責任であり、対策になります。現時点でも、世界の多くの専門家は、ペットを日常的に検査する必要はなく、新型コロナウイルス感染症は人から人へ感染する病気であり、人からペットに感染した（ペットからウイルスが検出された）としても、さらにペットが人に病気を移す可能性は限りなく低いだろうと考えています。